



2020年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年5月14日

上場会社名 株式会社パワーソリューションズ 上場取引所 東
 コード番号 4450 URL <https://www.powersolutions.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 成信
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 高橋 忠郎 (TEL) 03(5288)1117
 四半期報告書提出予定日 2020年5月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第1四半期の業績 (2020年1月1日～2020年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第1四半期	689	—	27	—	27	—	16	—
2019年12月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第1四半期	12.35	11.61
2019年12月期第1四半期	—	—

- (注) 1. 当社は、第1四半期の業績開示を2020年12月期より行っているため、2019年12月期第1四半期の数値及び前年同四半期増減率については記載しておりません。
 2. 当社は、2019年6月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っておりますが、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算出しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第1四半期	2,113	1,632	77.2
2019年12月期	2,164	1,615	74.6

(参考) 自己資本 2020年12月期第1四半期 1,632百万円 2019年12月期 1,615百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年12月期	—	—	—	—	—
2020年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の業績予想 (2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,537	11.5	155	△27.3	155	△27.2	104	△24.6	76.74
通期	3,262	13.6	356	2.5	358	8.9	242	8.4	177.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(業績予想について)

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大のなか、現時点では当社の業績への影響が不透明であることから、適正かつ合理的な業績予想の算出が困難な状況です。そのため、2020年2月14日発表の業績予想を据置き、修正が必要となった場合には速やかに開示いたします。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2020年12月期 1 Q	1,366,500株	2019年12月期	1,366,500株
---------------	------------	-----------	------------

② 期末自己株式数

2020年12月期 1 Q	一株	2019年12月期	一株
---------------	----	-----------	----

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2020年12月期 1 Q	1,366,500株	2019年12月期 1 Q	1,038,000株
---------------	------------	---------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間(自2020年1月1日 至 2020年3月31日)における我が国経済は、雇用・所得環境の改善が続く中で緩やかな回復基調が期待されておりましたが、米中関係による景気減速等の懸念を背景に、依然として景気の先行きには不透明感があります。また、新型コロナウイルス感染症の影響により経済活動は停滞しており、感染拡大の終息は目処が立たず実体経済への影響が強く懸念されます。

当社の主要販売先である金融業界におきましては、顧客の経営戦略に伴って業務・事務負担が発生する毎に必要な対応やグループの統廃合によるシステムの統廃合など、業界全体として引き続き需要が高まっております。さらに、今後の注力サービスであるRPA関連サービスの市場は依然として各種メディアでの注目度は高く、生産年齢人口の減少や働き方改革によって金融業界のみならず一層活用期待は高まっております。

当第1四半期累計期間においては、RPA等の活用を含むIT活用やデジタル化による業務プロセス改革(デジタルトランスフォーメーション)の継続した需要増加を背景に、顧客からの引き合いは依然として強く、それに伴い、積極的なコンサルタント人材の育成、コンサルタント経験者の採用、及び金融機関に留まらないあらゆる業界の企業との更なる新規取引の獲得に向けた販促活動をしてまいりました。一方で、新型コロナウイルス感染症の影響による受注時期の遅延や予定されている見込み案件の凍結などが一部発生しており感染拡大が長期化した場合の当社への影響は測りかねる状況にあります。

以上の結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高689,039千円、営業利益27,683千円、経常利益27,675千円、四半期純利益16,880千円となりました。

なお、当社は前第1四半期累計期間については、四半期財務諸表を作成していないため、前年同四半期累計期間との比較分析は行っておりません。

また、当社は、ビジネス・テクノロジー・ソリューション事業の単一セグメントであるため、セグメントの記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産の残高は、前事業年度末に比べ200,557千円減少し、1,627,959千円となりました。これは主として、現金及び預金が45,875千円減少、売掛金が180,965千円減少したことによるものです。

当第1四半期会計期間末における固定資産は、前事業年度末に比べ149,380千円増加し、485,499千円となりました。これは主として、敷金保証金が59,189千円増加、投資有価証券が50,000千円増加、繰延税金資産が28,842千円増加したことによるものです。

(負債)

当1四半期会計期間末における流動負債の残高は、前事業年度末に比べ68,057千円減少し、480,867千円となりました。これは主として、賞与引当金が83,325千円増加したものの、流動負債その他に含まれる預り金が47,296千円、買掛金が31,987千円、未払法人税等が29,211千円減少したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産の残高は、前事業年度末に比べ16,880千円増加し、1,632,591千円となりました。これは、四半期純利益により利益剰余金が16,880千円増加したことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大のなか、現時点では当社の業績への影響が不透明であることから、適正かつ合理的な業績予想の算出が困難な状況です。そのため、2020年2月14日発表の業績予想を据置き、修正が必要となった場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,182,670	1,136,794
売掛金	591,504	410,538
たな卸資産	31,812	15,690
その他	26,077	67,398
貸倒引当金	△3,546	△2,463
流動資産合計	1,828,516	1,627,959
固定資産		
有形固定資産	13,395	13,223
無形固定資産	11,082	13,657
投資その他の資産		
投資有価証券	—	50,000
長期貸付金	14,166	14,166
長期前払費用	1,537	10,483
敷金及び保証金	178,792	237,982
繰延税金資産	125,710	154,553
その他	5,599	5,599
貸倒引当金	△14,166	△14,166
投資その他の資産合計	311,640	458,618
固定資産合計	336,119	485,499
資産合計	2,164,635	2,113,458

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	95,253	63,266
短期借入金	4,000	—
1年内返済予定の長期借入金	5,010	2,511
未払法人税等	66,287	37,076
賞与引当金	53,234	136,560
役員賞与引当金	22,200	29,600
受注損失引当金	—	356
その他	302,939	211,496
流動負債合計	548,924	480,867
負債合計	548,924	480,867
純資産の部		
株主資本		
資本金	377,132	377,132
資本剰余金	357,132	357,132
利益剰余金	881,445	898,326
株主資本合計	1,615,710	1,632,591
純資産合計	1,615,710	1,632,591
負債純資産合計	2,164,635	2,113,458

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
売上高	689,039
売上原価	480,844
売上総利益	208,195
販売費及び一般管理費	180,512
営業利益	27,683
営業外収益	
その他	4
営業外収益合計	4
営業外費用	
支払利息	12
営業外費用合計	12
経常利益	27,675
税引前四半期純利益	27,675
法人税、住民税及び事業税	39,638
法人税等調整額	△28,842
法人税等合計	10,795
四半期純利益	16,880

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。